

令和7年度 学童クラブ待機児童対策計画

区市町村名

国立市

令和7年4月1日時点の学童クラブ待機児童数

0人

1 学童クラブの待機児童が発生している原因

定員を超えて受け入れを行っていることから現時点で待機児童は発生していないが、今後の市の推計において保育ニーズは高止まりする見込みであることから、待機児童対策をしなければ今後利用を希望する家庭の受け入れが困難になる可能性がある。

2 学童クラブの待機児童を解消するための対策

(1) 方針

定員増を伴う学童保育施設の改築

(2) 具体策

市内7か所の学童保育所のうち、2つの学区を1つの学童で受け入れている西学童保育所は、特に児童数に対して保育空間の狭小さが際立っており、現時点で待機児童は発生していないものの、安全な保育環境の整備のため、人数制限をかけることも視野に検討を求められている状況である。

西学童保育所に通う学区の一つである国立市立国立第二小学校では、現在校舎の建替え工事を実施しているため、学童保育所についても校内に完全移行し、かつ保育空間を拡充することで待機児童の発生を抑制する。

3 「学童クラブの待機児童を解消するための対策」を講じることによる効果

今後待機児童が発生する可能性を大幅に低くすることができる。また、引き続き全学年を対象に、全員入所の方針を継続しながら、登録人数に対して基準を満たす健全な面積・人員体制が確保できる。

また当該学童保育所は、近隣の児童館内に併設されていて、学童登所のために移動が生じる環境にある。保護者からは、学童登所する道の車の交通量が多く危険という声が挙がっていて、学童保育所の改築・校内移行は児童の安全対策としても有効である。

4 これまでの推移

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
小学生児童数	3124	3148	3147
増減	-	24	(1)
登録児童数	929	953	1,010
増減	-	24	57
待機児童数	0	0	0
増減	-	0	0

5 今後の見込

	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	累計
小学生児童数	3,109	3,137	3,077	3,050	
増減	(38)	28	(60)	(27)	
申込児童数	989	993	968	984	
増減	-	4	(25)	16	
登録児童数	989	993	968	984	
増減	(21)	4	(25)	16	
確保策の手法 (当該年度に新規で実施する手法)	国立市立国立第二小学校内学童の改築による定員増	国立市立国立第二小学校内学童の改築による定員増	全学年を対象に、校内学童と放課後子ども教室との「校内交流型」による事業実施 学童保育の要件を満たさない家庭の児童にも安全に過ごせる空間の提供	全学年を対象に、校内学童と放課後子ども教室との「校内交流型」による事業実施 学童保育の要件を満たさない家庭の児童にも安全に過ごせる空間の提供	
待機児童数	0	0	0	0	
増減	0	0	0	0	